



## 1. オープンマインドで多様性への理解を

近年、LGBTQ+(性的マイノリティー)であることを明らかにする留学生が増えています。LGBTQ+の学生は、異国である日本の文化や言語を習得する以外に、その国で新たにできた友人や世話になる人々へ、自分のアイデンティティをどのように説明するか、また、カミングアウトをしてどのような対応をされるのかなどの葛藤を常に抱えていることも稀ではありません。

国際ロータリー理事会は、ロータリーが「多

様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える」ことを再確認しています。

LGBTQ+の学生を含め、どのような留学生であっても、米山奨学生としての誇りを持って学業に専念し、地区の行事や世話クラブの活動にも参加できるよう、あらためて皆さんのご理解とご配慮をよろしくお願いいたします。

## 2. 各地区で奨学生オリエンテーションを開催

新しい奨学生を迎える季節になりました。今年の奨学生オリエンテーションも新型コロナウイルスの状況に配慮しながらの開催となっています。人と人との交流が希薄になりがちな時代ですが、米山奨学生がロータリーの活動に親しみ、末永く交流できる基盤づくりをよろしくお願いいたします。

**第2510地区【北海道】** 大学から在學生へ出された行動指針の基準に沿って、風力計で換気を確認、CO<sub>2</sub>濃度も常にチェックするなどホテ

奨学事業の詳細な説明や、カウンセラーオリエンテーションは後日Zoomで実施します。



(写真は学友のジョン・ミンさん撮影)

**第2670地区【徳島・香川・愛媛・高知県】**

原則として分区ごとに実施。愛媛分区ではオリエンテーションとカウンセラー研修を個別に実施。奨学生、カウンセラー、幹事、事務局職員にも出席いただき、奨学生の心得を説明し奨学金とバッジを贈呈。クラブ側の事務処理についても十分説明できたことが個別訪問のメリットでした。他の3分区は集合形式で開催します。



ルの協力で対策を徹底。300人規模の会場に約70人が参加しました。

**第2770地区【埼玉県】** 会場に集合して開催。今年は確約書の説明と、奨学生・カウンセラーの顔合わせ、自己紹介をメインとし、米山記念



### タイ米山学友会 総会のご案内

2021年5月15日(土) タイ時間 17:00~(日本時間 19:00)、受付として 16:30~(日本時間 18:30) より Zoom 開始、5月8日までに [thaiyoneyama@gmail.com](mailto:thaiyoneyama@gmail.com) へ事前申し込みのこと

### 3. 寄付金速報 — コロナ禍のご支援に感謝 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて1.9%減(普通寄付金:1.4%減、特別寄付金:2.3%減)、先月と変わらず約2,200万円の減少となりました。新型コロナウイルスの再拡大によりリアルでの例会開催が困難な中、皆様からの貴重なご

寄付に厚く御礼申し上げます。早くワクチン接種が進み、安心して通常の生活に戻れることを祈るばかりです。今年度も残り2ヶ月半ですが、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 4. マレーシア米山学友会が Zoom 総会を開催

3月20日(土)、マレーシア学友会総会が Zoom で開催されました。当日はマレーシア国内だけでなく、海外在住の同国出身学友、その他ロータリアンや他学友会代表者ら総勢60人ほどが参加。黄麗容会長(2001-04/横浜泉RC)は冒頭で、「学友会に参加するのは、意義と恩を感じているから。私たちがもらった米山奨学金は、天から降ってきたものではなく、日本のロータリアンが出し合って集められたもの。世界唯一の顔の見える奨学金制度。教育で世界は変わるという、ロータリアンの信念です」と述べ、米山学友が集まる意義を力強く語りました。続いて活動報告や決算報告、そして、マレーシア当局の手続きに則って役員選挙が行

われた結果、新幹事としてキューイーホンさん(2016-17/岩見沢東RC)が選任され、他の役員は再任となりました。



このほか、「世界米山学友の集い」提唱者の一人である何玉翠さんと、関東での開催実行委員長に就任した朴貞子さんから、次回の集いの説明と参加の呼びかけがありました。その

後も交流は長時間続き、日本のロータリアンとマレーシアの学友が新たに繋がる場面もありました。Zoomであっても、繋がり続けることの大切さを実感するすばらしい総会でした。

### 5. 第4代よねやま親善大使の自己紹介動画

昨年7月から活動を開始した第4代よねやま親善大使。本来であれば、全国の各地区を訪問し、米山関連の研修セミナーなどでスピーチをし、ロータリアンの皆さまや各地区の奨学生・学友と交流し、米山記念奨学事業の理解を深め

てもらふことを主な活動としています。今回、親善大使が各自で自己紹介の動画を作ってくれました(1人約10分)。3人の魅力はこの短い動画には収まりきれませんが、ぜひ多くの方にご覧いただき、親善大使の招へいをご検討ください。招へいのご依頼・ご相談は下記まで。現在、Zoomでの参加要請もお受けしています。



- 親善大使の動画ページ：  
(右QRコードを読み取ってください)
- 親善大使の招へい：広報担当  
seminar@rotary-yoneyama.or.jp

